

北陸中央病院理念

「人間愛に基づいた医療を通じて
社会に貢献します。」

基本方針

1. 安全には細心の注意を払い、安心の医療に努めます。
2. 心のふれ合いを大切にし、人権を尊重します。
3. 情熱と生き甲斐をもち、常に前進を図ります。
4. 小矢部市の中核病院として急性期と地域医療の共存を果たします。
5. 公立学校共済組合員や地域の人々の健康管理事業に力を注ぎます。
6. 健全な経営に努めます。

●発行は、2, 3, 5, 6, 8, 9, 11, 12月です。「あいの風ほぐりく」が発行される月はお休みをいただきます。

●次回は平成30年2月発行を予定しています。

世界糖尿病デー啓発活動

平成29年11月9日（木）正面エントランスにて、今年で4回目となる世界糖尿病デー啓発イベントを開催いたしました。このイベントは、糖尿病について考えるきっかけや、予防の第一歩を踏み出す機会となる活動です。



内科 中屋医長の講義

『おいしい塩分♪きけんな塩分♪

～塩分の取り過ぎは血管をいためます～』

上記のテーマで中屋医長の講義、居村栄養管理科長のクイズや、みそ汁試飲などを通して減塩の大切さを伝えました。

また、簡易血糖測定、お薬相談、栄養相談、フットケア体験などを通して日頃の不安や悩みが解決したという声が聞かれました。

糖尿病から透析導入となる患者さんが全国的にも多く、糖尿病透析予防が課題となっています。

今年度は新たに、砺波厚生センター小矢部支所、小矢部市健康福祉課との連携を図ることができ、地域の方にむけた啓発活動の発信にもなったのではないかと考えています。

イベント時間1時間半の間、50名ほどの参加があり、中にはこのイベントを目当てに来院された方もおられました。



各相談、体験コーナー

ポリファーマシー対策について

高齢者における医薬品安全対策の推進について考えてみませんか

厚生省では、現在ポリファーマシー対策として高齢者医薬品適正使用検討会を実施しています。今回はその内容の一部をご紹介します。 薬剤科部長 守内 匡

【現状】 高齢化の急速な進展により、高齢者への薬物療法に伴う問題が顕在化

- 腎/肝機能の低下、体成分組成の変化による薬物動態の変化
- 合併症による多剤投与（ポリファーマシー）の増加
- 多剤投与（ポリファーマシー）による副作用の増強、薬物間相互作用の発現（精神、麻薬等）
- 医薬品の情報提供は単品単位で行われ、複数薬剤を包括した注意喚起が行われていない
- 飲み忘れ等、服薬管理の必要性が高い患者の存在等

【必要な対策】

1. 高齢者の薬物療法に関する安全対策の充実
2. 高齢者の薬物療法に関する専門性の強化と多職種連携
3. 高齢者の薬物療法の安全性確保のため、医薬品の安全性情報の提供のあり方等の安全対策を推進するにあたってするに当たって必要な事項を検討

高齢者の医薬品関連の有害事象

- 医薬品に関連する有害事象の出現頻度に関する過去の欧米の報告では、入院症例では、高齢者の6-15%に有害作用を認めており、60歳未満に比べて70歳以上では1.5-2倍の出現率。
- 日本でも東京大学老年病科の入院症例の報告では12.7%、2004年の論文の調査で5施設で6.6-15.8%。

海外での報告事例(高齢者の薬剤使用の安全性)②

Emergency Hospitalizations for Adverse Drug Events in Older Americans
Daniel S. Budnitz, M.D., M.P.H. et al. N Engl J Med 2011; 365:2002-2012

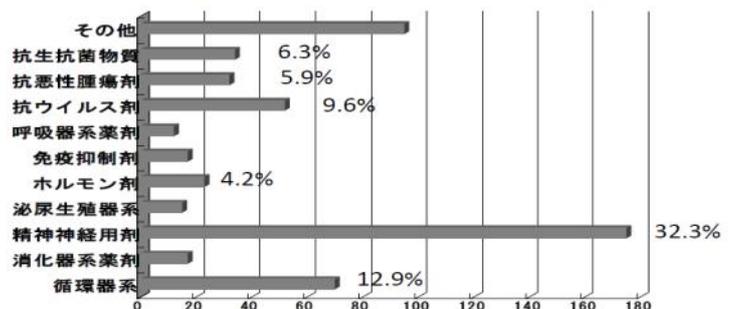
“The four most commonly implicated — warfarin (33.3%), insulins (13.9%), oral antiplatelet agents (13.3%), and oral hypoglycemic agents (10.7%) — accounted for an estimated two thirds of hospitalizations (67.0%; 95% CI, 60.0 to 74.1), and these remained the most commonly implicated drugs when stratified according to age (65 to 74 years, 75 to 84 years, and ≥85 years) and sex. “

米国の調査 (National Electronic Injury Surveillance System—Cooperative Adverse Drug Event Surveillance project (2007 - 2009)) では、医薬品に関連して 99,628件 の救急入院があったと推定され、そのうち、ワルファリン、インスリン、抗血小板薬、糖尿病薬の4種類が共通して高齢者の入院や救急外来につながる有害事象の原因として指摘されている。

高齢者の使用薬剤の副作用の問題

代表的な老年症候群の症状として、食欲低下、意識障害、認知機能障害、睡眠障害、抑うつ、せん妄、めまい、ふらつき、転倒、尿失禁、嚥下障害に関して、それらが副作用として医薬品の添付文書に記載されている薬剤の薬効群別の分類 (PMDAのHPより検索されたもの)

薬剤別の老年症候群の発生数 (薬剤数)



高齢者において薬剤効果が増強されることによる有害事象の事例

高齢者においては、加齢に伴い、自身の服薬行動や医師による薬物治療の提供に影響が出ます。

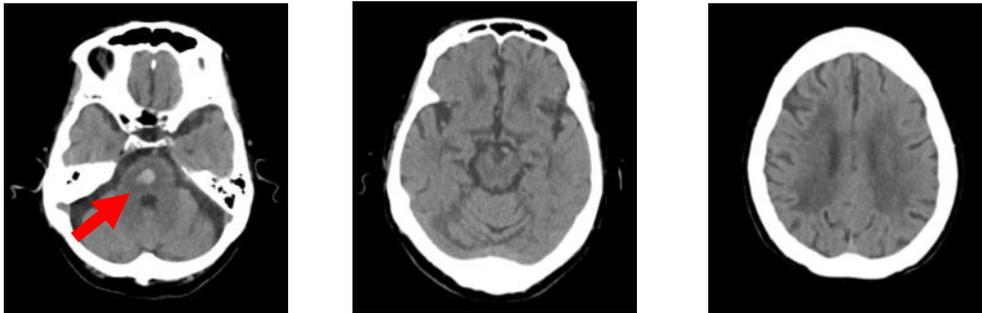
医薬品	有害事象
降圧薬	低血圧
利尿剤	脱水、電解質異常
経口抗凝固剤	出血
糖尿病	低血糖
非ステロイド性抗炎症薬	消化器症状
中枢移行性降圧薬	認知機能障害、運動機能障害
抗うつ薬	抗コリン作用（便秘、口渇、排尿障害等）
精神神経用剤	興奮、混乱、せん妄

画像診断ミニレクチャー 第6回

放射線科医長 永吉 俊朗

症 例： 80代、女性
既往歴： 糖尿病、狭心症（PCI後）、ブラビックス内服中
経 過： 2/● 頭部打撲で皮下血腫（図1）
3/● 経過観察皮下血腫↓↓（図2）
4/● 頭を押すと痛いので本人の希望でCT撮影（図3）、同日MRI精査（図4）
7/● 自宅で転倒し1週間後に来院、CTで再出血発見（図5）

図3 4/● CT



橋中央部に1 cm程の高濃度陰影（出血）がみとめられる

図4 4/● MRI T2*WI

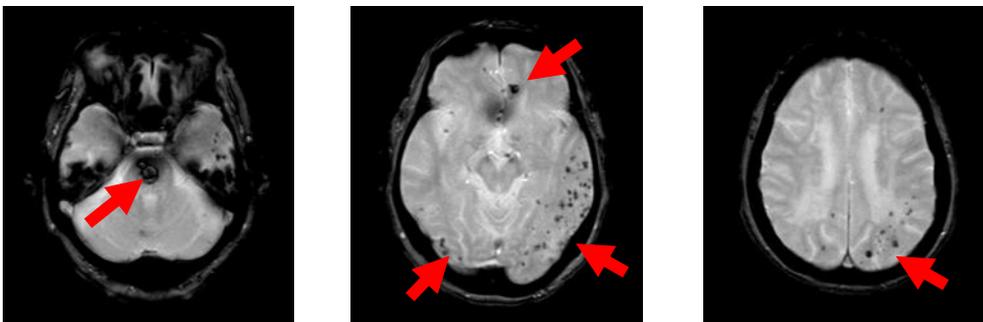


図3のCTではわかりにくい左大脳半球の皮質下白質に主座を置く多発する微小出血巣がよくわかります。

図1 2/● CT
皮下血腫

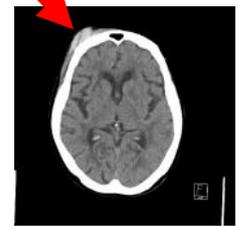
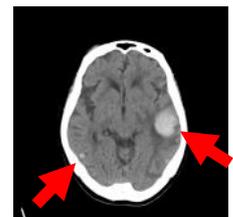


図2 3/● CT
皮下血腫↓↓



図5 7/● CT
経過観察中に再出血



脳アミロイド血管症(cerebral amyloid angiopathy)

高齢者の非高血圧性出血の代表疾患です。アミロイドβタンパクが脳の中小動脈に沈着し、脆弱化した血管壁が破綻する病態です。増大傾向を有する巨大な脳葉型出血と皮質に多発する微小出血パターンがあります。微小出血の検出にはMRIのT2*WIが有用です。

側脳室周囲白質に広がる異常信号を伴うことも多く、血管狭窄による虚血性変化と考えられます。脳血管性認知症の原因となりますが、進行は緩徐です。脳アミロイドーシスの代表疾患であるアルツハイマー病とは沈着部位が異なり、別疾患です。

治 療：外科的な治療方法は大量出血などで生命に関わるケースにおいてのみ適用になります。また脳アミロイド血管症では確立した予防法が存在していません。

感染症発生動向

平成29年 第49週 12月4日(月)～12月10日(日)

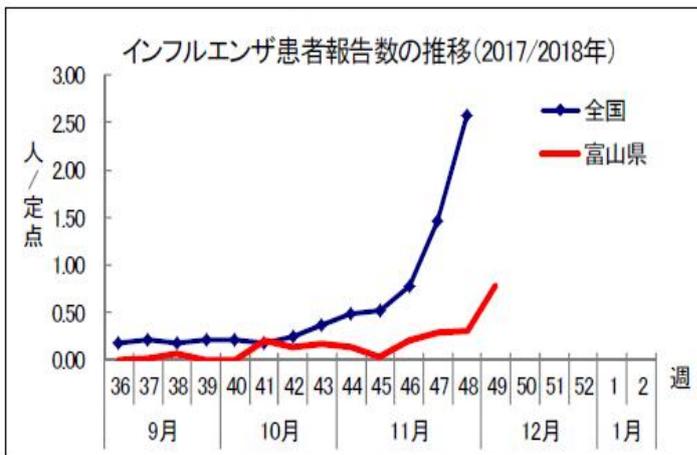
《 インフォメーション 》

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第49週 (12/4～12/10) : 富山県 0.79 人/定点

新川 HC (0.43)、中部 HC (1.00)、高岡 HC (1.92)、砺波 HC (0.14)、富山市 HC (0.25)

インフルエンザの患者報告数は、県内、全国とも増加傾向となっています。全国の患者報告数は、第47週に流行開始の目安である定点あたり1.00人を上回り、流行入りしました。

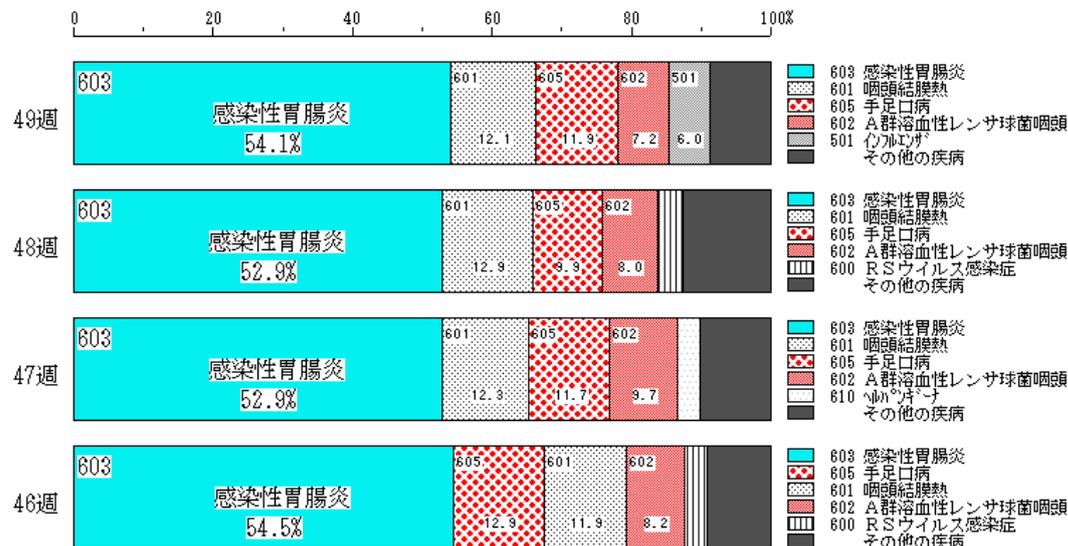


《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1位	感染性胃腸炎	11.86	10.31	↑
2位	咽頭結膜熱	2.66	2.52	↑
3位	手足口病	2.62	1.93	↑
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.59	1.55	↑
5位	インフルエンザ	0.79	0.31	↑
6位	突発性発しん	0.76	0.48	↑

《 富山全県の疾病別報告数の割合 》



この内容は次のホームページでさらに詳しくご覧いただけます。 <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

北中かわら版

発行日:平成29年12月15日

編集:広報委員会

公立学校共済組合
北陸中央病院

〒932-8503

富山県小矢部市野寺123

電話 0766(67)1150

FAX 0766(68)2716

ホームページも
ご覧ください
<http://www.kouritu.go.jp/hospital/hokuriku/>

または

北陸中央病院で
検索 してください

